

AXIS Camera Station Webクライアント

バージョン情報

Webクライアントを使用すると、Webブラウザで**AXIS Camera Station Pro**と**AXIS Camera Station Edge**の録画やライブビデオにアクセスできます。プライベートネットワーク上のシステムにアクセスする場合は「**AXIS Camera Station Pro web client**」を使用し、場所を問わずシステムにアクセスする場合は「**AXIS Camera Station Cloud web client**」を使用します。

	AXIS Camera Station Cloud Webクライアント	AXIS Camera Station Pro Webクライアント
事例	組織のオペレーターや管理者が、インターネット上のどこからでも、組織内の任意のシステムからライブビデオや録画ビデオを表示したり、音声デバイスを使用したりできるようにします。	AXIS Camera Stationユーザーが、プライベートネットワーク上のシステムのライブビデオや録画ビデオを表示できるようにします。
設定	通常、ネットワーク設定は不要です。ただし、接続されたAXIS Camera Station Proを使用する場合、組織ごとに月間300 GBのリレーデータの上限があります。データ使用量がこの上限を超える場合は、ネットワークをピアツーピアビデオ転送に対応するように設定することをお勧めします。	適切なネットワーク設定を行うことで、インターネット経由でサーバーにアクセスできます。
ユーザー管理	My Systems の [User management (ユーザー管理)] で設定された権限を持つMy Axisユーザー。すべてのユーザーは同じ組織内のすべてのシステムにアクセスできます。	AXIS Camera Stationシステムで設定された同じ権限を持つ同じWindowsユーザーとグループ。
更新	WebサーバーはAxisクラウドサーバーで実行され、常に最新の更新が適用されて最新の機能を備えています。	WebサーバーはメインのAXIS Camera Station録画サーバーと同じサーバーで実行されます。AXIS Camera Station Proの各新バージョンには、Webクライアントの更新も含まれています。

クライアントシステムの推奨事項

最新バージョンのChrome™、Edge™、Safari®、またはFirefox®の使用を推奨します。最適なパフォーマンスを得るには、H.264およびAV1のハードウェアデコードに対応したグラフィックスプロセッシングユニット（GPU）がシステムに搭載されており、安定したインターネット接続が確保されていることを確認してください。

注

複数のストリームを表示するには、かなりのCPUおよびGPUリソースが必要です。各ビデオストリームの解像度が高くなるにつれて、CPUとGPUへの負荷も増加します。

システムへのアクセス

システムへのアクセス方法は、プライベートネットワーク上のサーバーにAXIS Camera Station Pro Webクライアントで接続するか、AXIS Camera Station Cloud Webクライアントを使ってクラウド経由で接続するかによって異なります。

AXIS Camera Station Pro Webクライアント

プライベートネットワーク上のAXIS Camera Stationサーバーにアクセスする前に、サーバーに信頼できる証明書をインストールし、ブラウザとAXIS Camera Station Pro Webクライアント間のセキュアな接続を確立することをお勧めします。

既存の証明書をインポートする

インフラから信頼できる証明書をインポートするには、「証明書」を参照してください。

デフォルトの証明書のインストール

1. [Service Control (サーバーコントロール)] から証明書をエクスポートします。より詳細な情報については、CA証明書 を参照してください。
2. クライアントマシン上の信頼できる証明書リストに証明書を追加します。お使いのオペレーティングシステムの手順に従ってインストールします。

Webウェブクライアントへのアクセス

1. Webブラウザを開き、`https://[address]`と入力します。[address]には、AXIS Camera Station ProサーバーのIPアドレスまたはサーバー名を入力します。
2. AXIS Camera Station Proアカウントを使用してサインインします。

注

クライアントと同じコンピューター上のサーバーに接続している場合は、`localhost`を使用します。

ユーザーの役割と権限を管理する

AXIS Camera Station Cloud Webクライアント

AXIS Camera Station Cloud WebクライアントではMy Axisユーザーアカウントが使用され、権限はMy Systemsのユーザー管理で設定されます。そこで、ユーザーの招待、ロールの割り当て、招待の承認を行うことができます。詳細については、ユーザーの招待, on page 4および 招待の承諾, on page 4を参照してください。

ユーザーロールと権限は、組織レベルで適用されます。たとえば、オペレーターの役割をユーザーに割り当てると、そのユーザーは組織内のどのサイトからでもビデオにアクセスできます。

ユーザーの招待

ユーザーを招待するには、*User management in My Systems* (My Systemsでのユーザー管理)に移動します。My Systemsでのユーザーの招待方法の詳細については、axis.comのMy Systemsユーザーマニュアルを参照してください。

招待の承諾

招待を承諾するには、[*User management in My Systems* (My Systemsでのユーザー管理)] に移動します。My Systemsでの招待の承諾方法の詳細については、axis.comのMy Systemsユーザーマニュアルを参照してください。

AXIS Camera Station Pro Webクライアント

AXIS Camera Station Pro Webクライアントでは、AXIS Camera Stationシステムで設定されたものと同じ権限を持つ、同じMicrosoft Windowsユーザーおよびグループが使用されます。詳細については、AXIS Camera Station Proユーザーマニュアルの「ユーザー権限の設定」を参照してください。

Webクライアントを使用する

ライブビデオを表示する

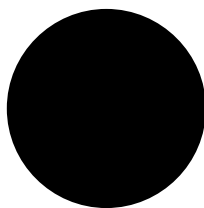
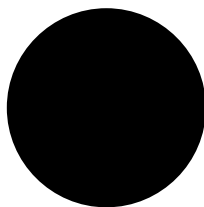
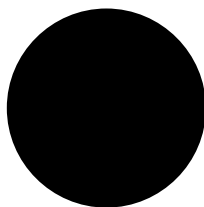
1.  をクリックすると、お使いのデバイスとビューが表示された画面が開きます。
2. ライブビデオを表示するソースを選択します。

点滅している緑色のステータスLEDは、ライブビデオを視聴していることを示します。

ストリームプロファイルを選択します。

ストリームプロファイルは、解像度、ビデオ形式、フレームレート、圧縮など、ビデオストリームに影響を与える設定のグループです。カメラのストリームプロファイルを変更するには:

1. カメラを選択します。
2. コンテキストメニューを開きます。



3.  [Stream profiles (ストリームプロファイル)] をクリックします。
4. 使用可能なストリームプロファイルのいずれかを選択します。

高 - 最高の画質と解像度を実現するように最適化されます。

中 - 高画質とパフォーマンスのバランスを取るように最適化されます。AXIS Camera Station Proでのみ使用できます。

低 - パフォーマンスに最適化されます。

カメラビューを制御

PTZカメラを使用している場合は、ライブビュー画像内でパン、チルト、ズームできます。この機能はデジタルPTZカメラ（パン/チルト/ズーム）の再生モードでも使用できます。

パンとチルト - カメラを向ける画像内をクリックします。デジタルPTZカメラを使用している場合は、クリック&ドラッグ機能も使用できますが、機械式PTZカメラはシングルクリックに反応しません。

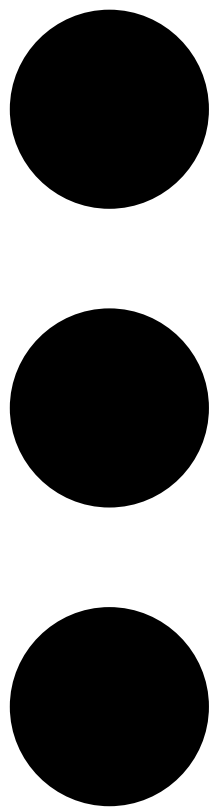
ズーム - マウスホイールを前後にスクロールして、ズームインまたはズームアウトします。

PTZプリセットに移動する

AXIS Camera Stationで設定した任意のPTZプリセットにアクセスできます。PTZプリセットに移動するには:

1. PTZカメラを選択します。

2. コンテキストメニュー



を開きます。

-  [PTZ presets (PTZプリセット)] をクリックします。
- 使用可能なPTZプリセットのいずれかを選択します。

ライブビューの音声

カメラに音声機能があり、ライブビューのプロファイルで音声をオンにしている場合は、音声を
 使用できます。

 Push-to-talk	カメラに設定されたスピーカーを通して話すには： - ライブビューのツールバーにあるマイクアイコンをクリックしてホールドします。赤色はトークモードになっていることを示しています。 - 話し終わったら、アイコンを離します。
--	--

スタンドアロンスピーカーにライブアナウンスを送信する

AXIS Camera Station Edgeシステムにスタンドアロンスピーカーが含まれている場合、それらを使用して、特定のエリアに対して、1度に1台のスピーカーからライブアナウンスを行うことができます。

アナウンスを送信するには：

1. **[Speakers (スピーカー)]** タブをクリックし、使用するスピーカーを選択します。
2. マイクアイコンをクリックして押し続けます。赤いカラーは、現在トークモードであることを示しています。
3. アナウンスを行います。
4. アナウンスが終了したら、マイクアイコンを放します。

注

- Webアプリでスピーカーを使用するには、そのスピーカーをあらかじめシステムに追加しておく必要があります。
- ライブアナウンスのみ送信できます。事前に録画されたクリップには対応していません。

録画の表示

1.  **[Go to playback (再生へ移動)]** をクリックして、再生ビューを開きます。
2. 再生ソースを選択します。詳細については、*再生ソースの選択, on page 9*を参照してください。
3.  をクリックして、イベントが発生したと思われる日付を選択します。
4. タイムラインを使用して、録画を見つけます。

赤色のステータスインジケータは、録画映像を視聴していることを示します。

再生コントロール	
	前の録画に戻る
	録画の再生
	次の録画に進む
	0.5秒スキップして戻る
	0.5秒スキップして進む

タイムラインのカラー	
青	連続録画
赤	動体を検知しました
グレーのストライプ	不明。時間帯が将来であるか、クライアントがサーバーから録画データを読み込んでいる最中である可能性があります。
紫	クラウドに保存された録画

クラウドストレージ	
	映像ソースとしてクラウドストレージを選択したか、Webクライアントが自動的にクラウドストレージに切り替えました。後者の場合、装置のストレージに問題がある可能性があります。

再生ソースの選択

デバイスのAXIS Camera Station Cloud Storageがオンになっている場合は、再生ソースを選択することができます。

1.  [Go to playback (再生へ移動)] をクリックして、再生ビューを開きます。
2.  をクリックします。
3.  [Playback source (再生ソース)] をクリックします。
4. [All (すべて)] または[Cloud storage (クラウドストレージ)] を選択します。

再生ソース	
すべて	装置またはサーバー、およびクラウドストレージから録音が再生されます。
クラウドストレージ	クラウドストレージのみから録音が再生されます。

再生品質を選択する

1. 表示する録画に移動します。
2.  をクリックします。
3.  [Quality (品質)] をクリックします。
4. 希望の画質を選択します。

録画のエクスポート

ビデオのエクスポートには、選択した期間のすべての保存先からの録画が含まれます。クラウドストレージがオンになっている場合、エクスポートにはローカルストレージとクラウドストレージの両方のビデオが含まれます。

重要

AXIS Camera Station Pro Webクライアントを使用する場合、録画をエクスポートするにはAXIS Camera Stationルート証明書をインストールする必要があります。

1. エクスポートする録画に移動します。
2.  をクリックします。
3. タイムライン上のマーカーを動かして、開始点と終了点を定義します。開始マーカーと終了マーカーをダブルクリックすると、現在の時刻に移動できます。選択には多くの録画を含むことができます。
4. [エクスポート] をクリックします。Webブラウザは録画をダウンロードフォルダーに保存します。

録画を共有する

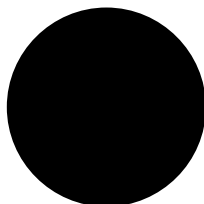
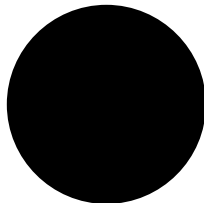
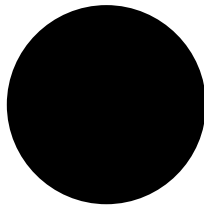
録画リンクをクリップボードにコピーし、組織内の誰かに送信できます。

1. 共有する録画を開きます。
2. 共有する録画のポイントに移動します。
3.  をクリックして、リンクをクリップボードにコピーします。
4. メッセージにリンクを貼り付けます。

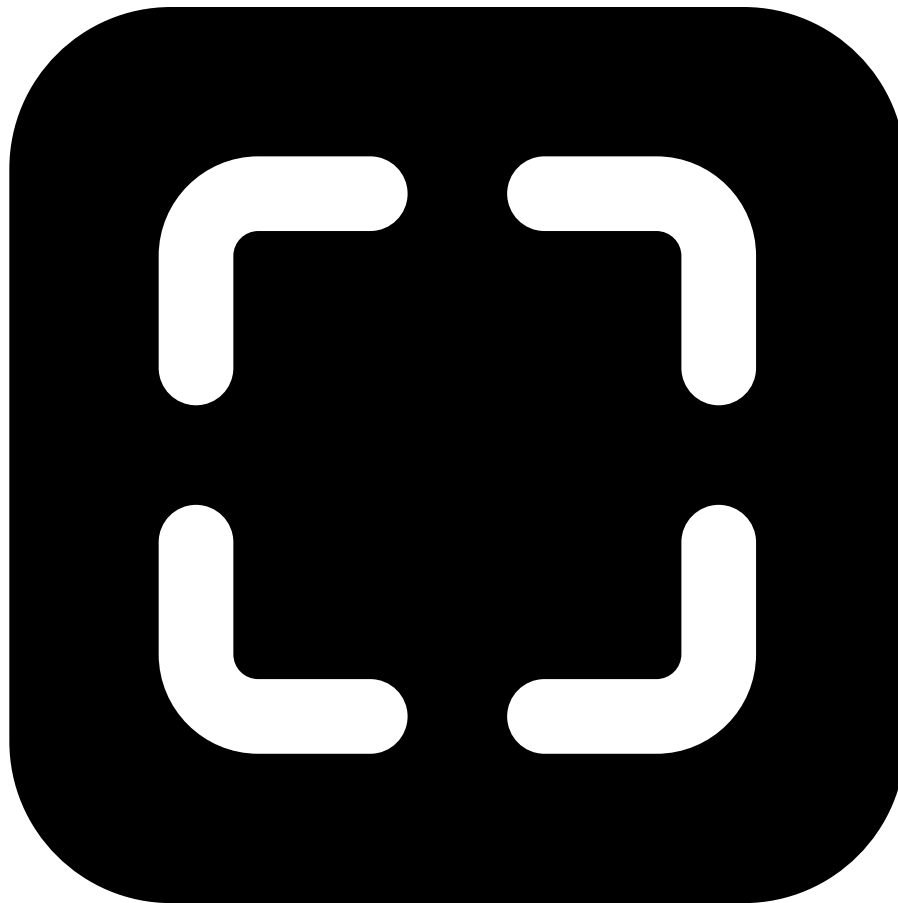
スナップショットの撮影

録画やライブ映像のスナップショットを撮影することができます。

1. コンテキストメニューを開きます。



2. [



Snapshot (スナップショット)] をクリックします。

Webアプリは、スナップショットをダウンロードフォルダに保存し、クリップボードにコピーします。

分割ビューの管理

分割ビューは複数のビューを同じ画面に表示します。これにより、異なる領域を同時に監視できます。分割ビューを作成するには:

1. [Video Operation (ビデオ操作)] に移動し、[Create split view (分割ビューの作成)] をクリックします。
2. ビューの名前を入力します。
3. パネルから必要な項目をグリッドにドラッグアンドドロップするか、「**テンプレートを選択**」をクリックして既定のレイアウトを選択し、項目をセルにドラッグアンドドロップします。不要なセルを削除するには、



をクリックします。

4. 組織内の全ユーザーがビューを利用できるようにする場合は、**[Share view (ビューの共有)]** をクリックします。

注

ビューを保存した後に共有設定を変更することはできません。

5. **[Save view (ビューを保存)]** をクリックします。

以下の手順に従って、分割ビューを編集します。

1. 編集する分割ビューを開き、**[Edit view (ビューの編集)]** をクリックします。**[Edit view (ビューの編集)]** が利用できない場合は、そのビューが共有されていてあなたが管理者ではない、またはそのビューがAXIS Camera Station Proで作成されたことが理由です。
2. 項目をドラッグアンドドロップしてグリッドに追加、移動、またはサイズ変更します。項目を別の項目の上にドラッグすることで、既存の項目を置き換えたり、項目を入れ替えたりすることもできます。
3. **[Save view (ビューを保存)]** をクリックして変更を保存します。

注

分割ビューにアクセス権のないカメラが含まれている場合、映像の代わりに「No access(アクセス権がありません)」と表示されます。

以下の手順に従って、分割ビューを削除します。

1. 削除する分割ビューを開き、[Edit view (ビューの編集)] をクリックします。
2. [Delete view (ビューを削除)] をクリックします。
3. 削除を確定します。このアクションは元に戻せません。

キーボード制御

各アクションには、互いに置き換えて使用できる2つのショートカットがあります。

Windowsショートカット	MACのショートカット	アクション
JまたはCtrl + Alt + P	JまたはCtrl + Option + P	前の録画にスキップする
LまたはCtrl + Alt + N	LまたはCtrl + Option + N	次の録画にスキップする
左矢印キーまたはCtrl + Alt + B	左矢印キーまたはCtrl + Option + B	0.5秒戻る
右矢印キーまたはCtrl + Alt + F	右矢印キーまたはCtrl + Option + F	0.5秒前に進む
SpaceまたはKまたはCtrl + Space	SpaceまたはKまたはCtrl + Space	録画の再生または一時停止
Ctrl + Alt + D	Ctrl + Option + D	デバッグ情報をクリップボードにコピー
Ctrl + I	Ctrl + I	ストリームの詳細を表示する
?	?	キーボードショートカットの表示と非表示

録画内の物体を検索する

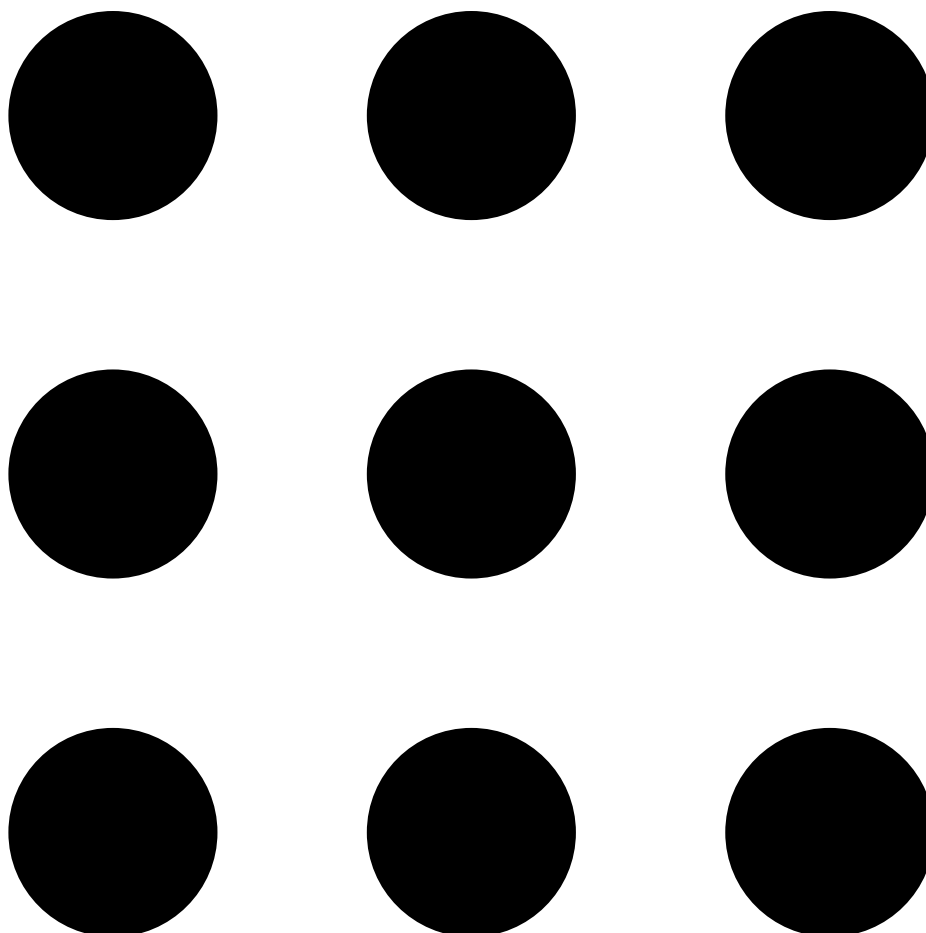
スマート検索を使用すると、録画内の人物や車両などの物体を見つけることができます。

注

- My Systemsのスマート検索を使用するには、接続済みサービスに登録されたAXIS Camera Station Proシステムのバージョン6.5以降が必要です。
- My Systemsでのフリーテキスト検索には、AXIS Camera Station Proのバージョン6.5以降が必要です。
- 検索を開始する前に、AXIS Camera Station ProでSスマート検索2を設定する必要があります。「AXIS Camera Station Pro - ユーザーマニュアル」の「スマート検索2の設定」を参照してください。

検索するには、以下の手順に従います。

1. My Systemsメニュー



を開きます。



2. **Smart Search (スマート検索)**を開きます。
3. 検索条件を定義します。
4. **[検索]** をクリックします。

検索に予想以上に時間がかかる場合は、以下の方法を1つ以上試して検索を高速化してください。

- AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントで、重要または頻繁に使用するカメラのバックグラウンド処理をオンにします。
- AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントで、カメラに受信フィルタを適用して、不要な検知を低減します。
- 検索期間を短縮する。
- 検索対象のカメラ数を減らす。
- エリア、物体の向き、大きさ、時間を定義し、データの量を小さくする。

カメラ	カメラによる検索を制限するには、 [Cameras (カメラ)] をクリックして検索に含めるカメラを選択します。
検索期間	検索を時間で制限するには、 [Search interval (検索間隔)] をクリックして時間範囲を選択するか、カスタム間隔を作成します。

範囲	範囲で絞り込むには、[Area (範囲)] をクリックし、カメラを選択して、[Filter by area on this camera (このカメラで範囲で絞り込む)] をオンにします。画像内の対象範囲を調整し、必要に応じて点を追加または削除します。
ライン横断	ライン横断で絞り込むには、[Line crossing (ライン横断)] をクリックし、カメラを選択して、[Filter by line crossing on this camera (このカメラでライン横断で絞り込む)] をオンにします。画像内のラインを調整し、必要に応じて点を追加または削除します。
大きさ	大きさを絞り込むには、[Size (大きさ)] をクリックし、カメラを選択して、[Filter by size on this camera (このカメラで大きさを絞り込む)] をオンにします。画像全体に対するパーセンテージで最小の高さと幅を調整します。
所要時間	継続時間でフィルタリングするには、[Duration(継続時間)] をクリックしてカメラを選択し、[Filter by duration on this camera(このカメラを継続時間でフィルタリング)] をオンにします。最小期間を秒単位で調整します。
速度	速度で絞り込むには、[Speed (速度)] をクリックし、カメラを選択して、[Filter by speed on this camera (このカメラで速度で絞り込む)] をオンにします。フィルターに含める速度範囲を指定します。 注 速度フィルターは、レーダーやフュージョンカメラなど、速度を検知できる製品で使用できます。

物体の特徴	
人物	人物を検知するには、[Object characteristics (物体の特徴)] > [Pre-classified (事前分類済み)] > [Person (人物)] に移動し、服の色を選択します。複数の色を選択できます。
車両	車両を検出するには、[Object characteristics (物体の特徴)] > [Pre-classified (事前分類済み)] に移動し、車両のタイプと色を選択します。車両のタイプ色はそれぞれ複数選択できます。
不明な物体の検知	スマート検索が不明として分類した検知を含めるには、[Object characteristics (物体の特徴)] > [Pre-classified (事前分類済み)] に移動し、[Unknown object detections (不明な物体の検知)] を選択します。

物体の特徴	
映像の類似性	画像に人物が含まれている検索結果を使用して、外見が似ている人物を検索できます。検索結果項目のコンテキストメニュー  を開き、[Use as visual similarity reference (映像の類似性の参照として使用)]を選択します。次に、[Search (検索)] をクリックします。 注 類似性検索は、トリミングされた低解像度の人物画像から抽象化された画像データを作成し、他の画像データと比較します。2つの画像データが類似している場合、検索にヒットします。類似性検索は、生体認証データを使用して人物を識別することはありませんが、例えば、ある瞬間の人物の大きな体型や衣服の色を認識することができます。
フリーテキスト	フリーテキスト検索では、自然言語を使用して、録画内で検索する対象を記述できます。フリーテキストで検索するには、[オブジェクトの特性] > [フリーテキスト] に移動し、検索テキストを入力します。詳細については、フリーテキスト検索, on page 18を参照してください。

検索結果	
最新の検知を先頭に 	スマート検索では、最新の検知を先頭に、降順で検索結果が表示されます。最も古い検知結果を先頭に表示するには、  [Oldest first (もっとも古い検知結果を先頭に)]をクリックします。
Columns (列) 	検索結果のサムネールのサイズを調整するには、[Columns (列)] をクリックし、列数を変更します。
	同じイベントに属する可能性が高い検知をグループ化するには、時間間隔ごとにグループ化します。  ドロップダウンメニューから間隔を選択します。

フリーテキスト検索

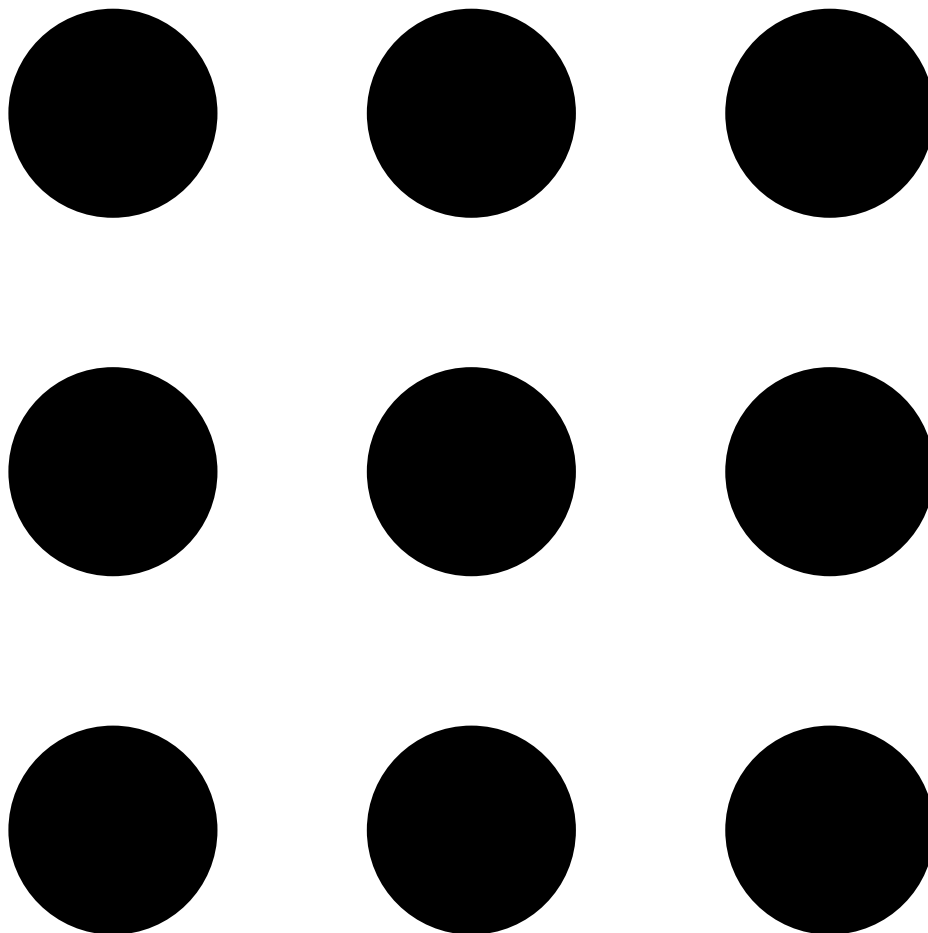
フリーテキスト検索では、自然言語を使用して、録画内で検索する対象を記述できます。

注

フリーテキスト検索を使用するには、事前にAXIS Camera Station Proで設定する必要があります。詳細については、*AXIS Camera Station Pro*ユーザーマニュアルの「フリーテキスト検索」を参照してください。

フリーテキスト検索を実行するには、以下の手順に従います。

1. My Systemsメニュー



を開きます。



2. Smart Search (スマート検索)を開きます。
3. [Object characteristics (物体の特徴)] をクリックします。
4. [Free text (フリーテキスト)] をクリックします。
5. フリーテキスト検索を初めて使用する場合は、[Show (表示)] をクリックし、[Intended use, limitations and responsible use (使用目的、制限事項、責任ある使用)] をお読みください。[OK]をクリックします。
6. 検索に含める用語と除外する用語を入力します。フリーテキスト検索の使用方法については、*プロンプトのガイドライン, on page 20*を参照してください。
7. [検索] をクリックします。

プロンプトのガイドライン

プロンプトには次の構成を使用することをお勧めします。

{person, vehicle or other object} + {specific action or attributes of the person, vehicle, or object}

いくつかのキーワードを使用して、物体を説明します。例:

プロンプト	コメント
赤いセーターと黒い帽子を着用した女性	概ね的確
赤い服の女性	やや曖昧すぎる
身長約156cmの女性。黄色のアクセントが入ったくり色のカーディガンを羽織り、80年代後半を彷彿とさせる黄褐色の縁取りが施された黒い日よけ帽子をかぶっている。	説明が細かすぎる

監視の専門家でない人と話しているように状況を説明します。例:

プロンプト	コメント
木のそばに停車している黄色いピックアップトラック	概ね的確
無人の車両、ナンバープレート：CHY67F、クラス：ピックアップ、カラー：黄色、位置：巨大なポプラの木の隣。	警察の報告書のように細かすぎる

フリーテキスト検索が理解される可能性の高い、優れたキーワード:

記述子	例
物体の種類	人、自動車、自転車、動物
カラー	黄
天気	晴れ
有名ブランド (自動車ブランド、ロゴ)	UPSトラック

不適切なキーワード:

記述子	例
テキスト	「踊るクマの立ち入り禁止」という店の看板。
感情に関する手がかり	An angry looking man (怒っているように見える男性)
計測	14 people milling around a town square (町の広場をうろつく14人)
地方の俗語	A red hoover (赤い掃除機)

検索クエリのもデレーション

安全で品位のある環境を維持するために、侮辱的、有害、または有毒なコンテンツを含む検索はブロックされる場合があります。当社のシステムは、自然言語処理モデルと、検索禁止カテゴリおよび禁止語のカスタムリストを使用して、各検索クエリを評価しています。

禁止語に同意できない場合、または新しい語を提案したい場合は、スマート検索のユーザーインターフェースから匿名でフィードバックを送信できます。当社のチームが受け取って確認します。

注

- フリーテキスト検索は英語にのみ対応しています。
- フリーテキスト検索は静止画像を理解します。falling (転倒)、running (走行)、stealing (盗み)などの行動については、より多くの情報が必要なため、適切な結果を得ることが困難な場合があります。
- フリーテキスト検索はクロップされた画像を使用するため、周囲の環境が含まれない可能性があります。city (都市)、urban (都会)、park (公園)、garden (庭)、lake (湖)、beach (ビーチ)などのシーンに関するキーワードを使用すると、結果の精度が低下する可能性があります。
- フリーテキスト検索機能の限界やベストプラクティスなどの詳細については、ホワイトペーパー「*Free text search in AXIS Camera Station Pro*」(AXIS Camera Station Proのフリーテキスト検索)を参照してください。

録音のクラウドへの保存

AXIS Camera Station Cloud Storageを活用することで、録画をクラウドに保存することができます。クラウドストレージの設定については、*AXIS Camera Station Cloud Storage*のユーザーマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

問題	解決策
クラウド内でWebクライアントにアクセスできない	- インターネットにアクセスできることを確認してください。 status.axis.comにアクセスし、サービスが実行されているかどうかを確認してください。
プライベートネットワーク上のWebクライアントにアクセスできない	別のプロセスがすでにポート443を使用しているため、リバースプロキシコンポーネントは起動しません。 オプション1: ポート443を使用しているサービスを無効にしてください。 オプション2: - AXIS Camera Station Pro Service ControlでWebクライアントポートを変更してください。 - AXIS Camera Station Proサービスを再起動します。 <code>https://[Server IP address]:[new port]/web-client/</code>のウェブクライアントにアクセスします。
ビデオのパフォーマンスが悪い	- ビデオストリームの数を減らしてください。 - グラフィックスカードが最小要件を満たしていない場合は、コンピュータをアップグレードしてください。クライアントシステムの推奨事項, on page 2を参照してください。
ライブ閲覧の中断	[Zipstream:Optimize for storage (ストレージの最適化)] の設定がオンになっています。最適なライブビュー環境を得るには、この設定をオフにしてください。
ビデオ再生の中断	映像エンコード設定で、H.264やAV1などのサポートされている形式を使用するように設定してください。現在のバージョンのWebクライアントでは、H.265はサポートされていません。
ブラウザでストリームエラーが発生し、ビデオが表示されない	サーバーまたは装置の時刻が正しくありません。わずかな時刻のずれでも、ビデオが再生されないことがあります。すべてのデバイスとサーバーの時刻設定が同期されていることを確認してください。
録画をエクスポートできません	信頼されていない証明書を使用しています。AXIS Camera Stationのルート証明書をインストールし、やり直してください。
スピーカーの双方向音声機能が動作しません	AXIS C1310-EやAXIS C1410など、クラウドへの接続にブリッジが必要なスピーカーは、双方向音声に対応していません。これらのスピーカーにもアナウンスを送信することはできます。

T10206258_ja

2026-06 (M19.2)

© 2024 – 2026 Axis Communications AB